

れいげん

大光山 霊源寺 寺報 第一号



発行：2013年9月

<寺報発行のはこび>

霊源寺は貸し斎場がメインの業務でしたが、4年前に納骨堂が完成し、着実にお求めになられる方も増え春秋彼岸法要にお参りに来られる方も増えてきています。

しかし、今までなかなかお参りに来られる方と話す機会があまりありませんでしたし、このお寺がどのような歴史があり、普段どのような活動をしているか知らない方がほとんどだと思います。

数年前からホームページやブログを始め、そして新たにコミュニケーションツールの一つとして寺報を発行することに致しました。これから季節ごとに年4回の発行を目指していこうと思います。

皆様方と共に良いお寺を目指していこうと思いますので、どうぞご感想・ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

霊源寺 住職 太田 眞琴



(納骨堂「博眞閣」本尊の薬師如来像)

<浄土宗①>

宗祖法然上人のはなし①

ここでは皆さんに浄土宗のことを紹介していこうと思います。

まず一回目は浄土宗の開祖であり、お念仏の教えの元祖である法然上人についてご紹介します。

法然上人は長承2年(1133年)4月7日に美作の国(岡山県)で、父・漆間時国、母・秦氏の間誕生しました。

しかし、押領使という現在でいうところの警察官であった父・時国は法然上人が9歳の時に、夜襲を受け不意打ちにより倒されてしまいます。

法然少年は当時の世の習いの通りに仇討ちを決心するのですが、臨終の際に時国が遺した

「恨みをはらすのに恨みをもってするならば、人の世に恨みのなくなるときはない。恨みを超え、全ての人救われる仏の道を求めよ。」

という言葉に従って仏教の道へと進まれるのです。



漆間時国



秦氏

霊源寺とタイとの意外なカンケイ？

霊源寺には古い無縁仏の供養塔があります。無縁仏といっても戦後に納骨されたお骨には過去帳などに記載が残っているものも多くあります。その中に「ピブーン・ソクラーム（元タイ国首相）」という名前を見つけ、タイの首相が何故ここに？と気になってはいましたが、ご遺族の方のお参りがあるわけでもなく、連絡先も分からない為、その来歴も不明でした。

ある日、一本の電話からその謎が明らかになります。

その前にピブーン・ソクラームという人物についてですが、

ピブーン・ソクラーム

(1887年7月14日生－1964年6月11日寂)

タイの政治家。首相を2度務め、第二次世界大戦をまたいでタイの政治に大きな影響力を持ち続け、永年宰相というあだ名までつけられた。(wikipediaより)戦前より一貫して親日的立場をとっており、1957年にクーデターにより政権を追われてからは日本へ亡命し終生の棲家としていたそうです。



お会いした時にいただいた DVD

(前ページからの続き)

話を戻しまして、その電話というのは、とある大学の研究者の方からで、知人のタイ人大学教授が、ピブーンについて調べており、最後にたどり着いた所が霊源寺であり、是非一度来寺し、その過去帳を拝見したいとのことでした。

当日は少し不安でした。

おそらくこの過去帳の記載が、ピブーンの人生最後の足跡であるとは思いますが、それ以上のものは残ってなく、当時の事を知る者もいません。

しかし来寺されたタイ人の先生方は大変喜ばれ、どこか懐かしそうに祖国の英雄の最後の足跡をご覧になり、ピブーンが納骨されている可能性のある供養塔を参拝されました。

タイ人は一般的にお墓を建てることはなく、遺骨に対する考え方も日本とは異なっていることと、タイ国にはクーデターなどによる政変が多く、その時の政治情勢によって過去の偉人の評価が、二転三転してしまう為にピブーンでさえも永い間、遺骨の行方が調査されることは無かったのではないかということでした。

もしかすると将来、霊源寺に於いてタイ人僧侶との合同法要が行われる日が来るかもしれませんね。

◆行事予定

平成 25 年 9 月 26 日(木) 11 時より

・秋彼岸法要

平成 26 年 3 月

・春彼岸法要(日程は後日お知らせ致します)

◆編集後記

今回、初めてこのような寺報を出すにあたり、改めてこの霊源寺というお寺のあり方について考えることができました。

これまでの霊源寺とこれからの霊源寺、詳しくは次号にてお伝えできるかと思いますが、皆様と一緒に良いお寺を創っていかれたらと思っております。寺報に関する感想や、お寺に対する要望など、どのようなことでも、お伝えいただければ幸いです。

(中村 尚平)

◆次号予告

次号は平成 26 年 1 月発行予定です。

「霊源寺の歴史」の連載を開始します。

〒142-0063

東京都品川区荏原 1-1-2

宗教法人 大光山霊源寺

TEL03-3494-1083 FAX03-3494-6319

Mail: reigenji@gmail.com

ホームページ: <http://reigenji.konjiki.jp/>

発行人/太田真琴